

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

南部快適木の家

グループの名称

南部家造りひかり会

直近採択グループ番号

04-0400-0050

(グループ代表者)

代表者名

小幡 千裕

代表者印

代表者所属先

小幡建設工業株式会社

代表者所在地

青森県八戸市城下四丁目22番33号

代表者電話番号

0178-22-1121

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社吉田産業八戸支店

事務局担当者名

菊池 三弥

印

事務局郵便番号

039-1121

事務局所在地

青森県八戸市卸センター二丁目3-30

事務局電話番号

0178-20-3111

事務局FAX

0178-20-1805

事務局担当者E-mail

m-kikuchi@yoshidasangyo.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	南部快適木の家
2. グループの名称(必須)	南部家造りひかり会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0400-0050
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	青森県 岩手県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	小幡 千裕
7. グループ代表者の所属先(必須)	小幡建設工業株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	青森県八戸市城下四丁目22番33号
9. グループ代表者電話番号(必須)	0178-22-1121
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社吉田産業八戸支店
11. グループ事務局担当者名(必須)	菊池 三弥
12. グループ事務局郵便番号(必須)	039-1121
13. グループ事務局所在地(必須)	青森県八戸市卸センター二丁目3-30
14. グループ事務局電話番号(必須)	0178-20-3111
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0178-20-1805
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	m-kikuchi@yoshidasangyo.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	
II. 製材・集材製造・合板製造	4	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	2	
V. 設計	8	
VI. 施工	15	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	5	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	杉・唐松	青森県	青森県産材認証制度	1	国内
	杉・唐松	岩手県	岩手県産材認証制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		9	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	4	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		6	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		6	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		3	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟	/					
			0	m ²						
		申請が未確定	0	棟						
			0	m ²						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	採択後、臨時会議を招集し、1.実績の無い施工店を優先する。2.1.を踏まえ受注が確実な施工店を優先する。3.申請要望戸数が満たされない場合、不公平感が無い様一戸当りの補助金額を調整し配分する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南部快適木の家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 南部家造りひかり会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0400-0050	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	BELS認証を推進し、住宅の気密・断熱化を重視し、耐久性をより向上させると共に、一次消費エネルギーの消費を抑え、平成28年省エネ基準に適合した長寿命住宅を設計・施工する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	青森県、岩手県産認証制度の地域材を可能な限り使用して、快適で健康で安心して暮らせる家造りをする。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	建築場所の近隣の状況と施主の要望を加味して、より満足される様な自由設計を基本とする。	◎
④①～③の背景	当地区は寒冷地であり断熱した住宅が主流であるが、内部結露や表面結露などにより劣化が生じ、短い年数でリフォームをしなければならぬ現実がある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施主との打ち合わせにおいて、内・外装へも積極的に県産材を取り入れる様折衝する。又、子育てを家族で支え合える三世帯同居など複数世帯の同居し易い環境づくりを行う。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 合理化委員会での検討と実施で、品質の安定とコストの削減を行う。	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 合理化委員会での検討と実施を行う。	○
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 合理化委員会での検討と実施を行う。	○
②-1 建材・資材調達の商品化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 合理化委員会での検討と実施で、品質の安定とコストの削減を行う。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 共同購入によりコストの削減を計る。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 合理化委員会の設置済。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 合理化委員会の招集と申請手続きのサポートを行う。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 第三者機関を利用し、基礎配筋検査、躯体金物防水検査を施工基準とする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 地盤調査を必ず実施し、その結果を施主に対し必ず公開して調査結果に応じた地盤補強を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 外皮性能計算書と一次エネルギー消費計算書を基に、BELS認証を見積書へ添付する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 施工店自社のホームページや広告媒体を利用して現場構造・完成見学会の開催を広く告知して、住宅建築費用負担以上のメリットがある旨を来場したユーザーにわかりやすく告知する行動を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	気密測定を推奨し、0.5cm/m ² 以下を目標値とする。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南部快適木の家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南部家造りひかり会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0400-0050	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	第三者機関の活用をしています。	
①	住宅履歴情報の蓄積	◎
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件毎に住宅履歴情報機関を活用する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件毎に住宅履歴情報機関を活用する。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件毎に住宅履歴情報機関を活用する。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書を作成して、計画に基づいて定期的な点検を行う。	○
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検補修チェックリストを用いる。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 合理化委員会開催時に外部講師により年1回実施する。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工店のお客様感謝祭やグループ事務局年1回のイベントで継続的に開催する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場完成見学会時に相談窓口を設置したり、一般ユーザー向けのセミナーを年1回開催する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 合理化委員会開催時に外部講師により年1回実施する。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場引渡し時の取り扱い説明を実施する。	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局に相談窓口を設置し、会合時に施工店の調整を行う。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社を出来るだけ一本化して、チェック項目や対処の仕方を共有する。	○
その他	事務局に施主向けの相談窓口を開設する。	○
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で設計・施工に関する勉強会を経験済工務店を講師に半期に1回開催する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 合理化委員会で共有できる項目についてマニュアル化を推進する。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工店の現場構造・完成見学会時に視察を推進する。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記①、②-1・2を継続して実施し共有する。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記①、②-1・2を継続して実施し、省エネ技術講習会への構成員すべての受講の推進。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 合理化委員会開催時に外部講師により年1回実施する。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 33 今年度の参加目標人数 10	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 9	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講施工店、受講済工務店の社員・職人へも受講を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 他地域グループへの研修旅行や意見交換会を開催して向上を図る。	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	追加登録を希望する施工業者は、省エネ技術講習会への参加の有無を確認する。	◎
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南部快適木の家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県 岩手県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南部家造りひかり会	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0400-0050		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】			
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材(土台・柱・梁・桁)に可能な限り、青森県産材・岩手県産材を使用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	【代表的な地域材の流れ フロー図】 株式会社吉田産業が施工構成員に対してプレカットの直接販売ができる事が強みであり、それにより流通コストの削減に努めている。 	◎
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット業者との情報共有をする為に定期的に打ち合わせを行う。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット業者との情報共有をする為に定期的に打ち合わせを行う。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工店の現場情報を訪問時に必ず確認する。	◎
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員Ⅷの業者を筆頭に地元の施工業者を積極的に活用する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員Ⅷの業者を筆頭に地元の施工業者を積極的に活用する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 会合時に伝統的なデザインを持つ熟練した職方から技術を学ぶ機会を設ける。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工店自社ホームページや現場構造・完成見学会で告知する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 景観に配慮した家造りをする。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施主と協議の上、日本古来の和文化を提案する。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施主と協議の上、内・外装へも可能な限り県産材を取り入れる様提案する。	○
カ. その他			
【平成29年度対応方針】			
	東日本大震災の復興に資する取組	被災地域の木材や資材の使用により、被災地域経済の活性化と被災地域の施主に対し、補助金を活用してもらい長期に渡り快適で健康で安心な住宅を建築出来る旨の情報提供をする。	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	施主と協議の上、熊本県産材のいぐさを取り入れる等提案し、被災地域経済の活性化に尽力する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南部快適木の家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南部家造りひかり会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0400-0050	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

- ・2020年度には、新築住宅の50%をゼロ・エネルギー住宅にするという国の方針を重視し、今年度よりゼロ・エネルギー住宅に取り組みやすい様に、一次エネルギー消費を抑える商材を選定し、節湯水栓はA1、C1使用を主流とし、浴室の浴槽については高断熱型浴槽を使用する。エアコンを使用する場合は定格冷房エネルギー消費効率区分(イ)の条件を満たす物を使用する。照明は居室については白熱灯を使用せず調光可能な物とし、非居室は人感センサー付とする。給湯設備はJIS効率3.4~3.5以上を使用。
- ・サッシは日射取得型の熱貫流率2.33以下、断熱材は天井・壁共に熱伝導率0.038以下、床・土間部基礎は熱伝導率0.028以下の物を使用する。
- ・太陽光発電について設置容量を6~8KW程度とし現実的に搭載し易い設計を共有化します。
- ・今後は太陽光発電、HEMS、蓄電池との組み合わせで、さらに一次エネルギー消費を削減出来る対応がとれる様に構成員に電気工事店も加えております。
- ・施主や施工店からのさまざまな要望に柔軟に対応出来る様、一次エネルギー計算や外皮性能計算の代行、BELS制度の書類作成フォロー等の万全の対応が可能。
- ・上記の内容により、長期優良住宅・認定低炭素住宅の適合書発行手続きや性能向上計画認定住宅のBELS制度の発行手続きの代行業務を十分に行える体制が出来上がっております。